

平成25年度 甲賀市決算

甲賀市総合計画をもとに、平成25年度に行った主な事業を重点テーマごとに紹介します。(繰越事業含む)

元気と安心、みんなで守る甲賀の暮らし

セーフコミュニティ推進事業

725万円

「けがや事故等は偶然の結果ではなく予防できる」という理念に基づき、世界基準の取り組みであるセーフコミュニティの推進にあたり、平成25年度は外傷サーベイランス委員会やテーマ別対策委員会を設置し、重点課題や取組プランを検討しました。

地域情報化推進事業

13億4,095万円

市民の安全・安心な暮らしを守るため、市独自の地域情報基盤を整備し、初期の情報伝達手段として、平成25年度は、全戸を対象に音声放送端末機を約8,700件設置しました(累計約11,000件)。また、個別訪問などにより事業の推進を図りました。

市庁舎整備事業

5,382万円

建物の耐震性や老朽化などの課題を

解消するとともに、市民サービスの向上や事務の効率化を図るために市庁舎を整備するにあたり、市民ワークショップ、パブリックコメントなどによる市民の皆さんのご意見や議会での議論をふまえ「甲賀市役所庁舎整備基本設計」を作成しました。

平成26年度は、建設工事を発注するための「実施設計」を進めています。



▲新庁舎完成予想図

水口交流センター整備事業

3億7,736万円

水口北部地域において、地域住民が交流できる場所の確保と災害時の避難、収容場所としての施設整備を実施しました。

小中学校耐震補強・大規模改造事業

2億8,122万円

耐震基準を満たさない施設の耐震補強や老朽した施設の大規模改造を行いました。

平成25年度は、甲南第二小学校屋内運動場と甲南中学校校舎の工事を実施するとともに、今後実施予定の多羅尾小学校屋内運動場と土山中学校屋内運動場の設計を実施しました。

障がい者医療費助成事業

1,520万円

医療を受ける機会が多い障がい者の健康を守り、安心した生活を送っていただくため、身体障害者手帳1,2級を所持する方への医療費助成に加え、3級を所持する方に対し、医療費の一部を助成しました。

障がい児放課後児童クラブ設置事業(放課後等デイサービス設置事業)

898万円

障がいを持つ児童生徒が、放課後や長期休暇中に過ごせる場として、旧貴生川児童クラブの改修工事(トイレの

改修やスロープの設置など)を行い、放課後等デイサービス事業を平成26年2月から実施しています。

学びと育ち、きずなが育む甲賀の未来

放課後児童クラブ施設整備事業

7,949万円

保護者が労働等で昼間家庭にいない児童の健全育成を図る子育て支援として開設している放課後児童クラブのうち、施設の老朽化と待機児童の解消を図るため、水口、綾野児童クラブを新築移転し、定員を増やしました。

一時預かり保育事業

1,103万円

保護者の育児疲れや育児不安解消、また子どもに対する虐待の未然防止を図るため、従来の一時預かり保育事業に加え、生後6カ月から1歳6カ月までの間に利用できる無料利用券を配布し、水口子育て支援センターと新たに土山、甲賀西、甲南東、信楽の各保育園で利用できるようにしました。

いじめをなくす集団づくり事業

116万円

いじめを許さない学校づくり、学級づくりを進めるため、いじめの未然防止、早期発見、早期対応のための教職員対象の研修会を実施しました。また小学校の児童会、中学校の生徒会活動を通して、子どもたちが自らいじめをなくそうとする取り組みを支援しました。

都市農村交流事業

1億4,007万円

都市と農村の交流促進のため整備した「かもしか荘」をリニューアルオープンしました。

また、「忍者の里こうかで田舎体験」として、定着しつつある都市部からの中学生の教育旅行を受け入れるとともに、田舎体験プログラムや食事体験のメニュー整備など受入体制の強化を図りました。

緊急経済対策住宅リフォーム促進事業補助
4,984万円

雇用機会の拡大や技術の伝承につなげるため、景気低迷期の地域経済活性化対策として、市内業者により行われた住宅リフォーム工事に対して施工経費の一部を補助しました。

甲賀ブランドの創設・発信事業

699万円

甲賀ブランド推進協議会により、新たに18点を甲賀ブランドとして認定し、情報発信を行いました。また、観光案内所の開設や名物料理の開発に取り組み、国内外の観光客を獲得するためのフォーラムの開催や商談会への出展を行いました。

魅力の伝承、誇りを伝える甲賀の宝

あいつがか岡山城プロジェクト

1,649万円

地形測量や遺構確認発掘調査を実施することにより、城の構造を解明し、国史跡指定をめざすとともに、城跡を自然公園として親しむことができる散策道や森林整備を実施しました。



▲都市農村交流事業の受入家庭で料理体験をする学生

信楽高原鐵道施設保守・管理業務委託

1億 663万円

第二種鉄道事業者である市が保有する鉄道施設の維持管理を信楽高原鐵道に委託することで、適切な保守による列車運行の安全確保に努めました。また、台風第18号豪雨で被災したことに伴う連休期間中の代替輸送手段として、代行バスの運行を委託し、信楽・貴生川間の交通手段を確保しました。

協働事業

市民協働事業提案制度によって採択された次の6つの事業を優先的に予算化して推進しました。

- ここあったかハウスふれあい農園事業
- 不登校児童、生徒へのサポート活動事業
- 市民農園開放等による高齢者の生きがいづくり
- 市の花「ササユリ」の咲きほころぶ街づくり
- 今郷歴史街道整備事業
- 自然豊かな里山で大人と小学生がいつしよに体験する楽しい里山活動

特別会計・企業会計で実施した事業

岩室浄水場施設築造事業

1億2,617万円

岩室水源の水質を安定的に確保するため、紫外線処理設備を備えるとともに、県用水を新たに受水する浄水場に改築しました。平成26年度からは、こ

公共下水道整備事業

5億5,278万円

市民の生活環境の向上と公共水域の保全のため、水口町山地区、新城地区、甲南町池田地区、希望ヶ丘地区等の下水道整備工事を実施しました。また、希望ヶ丘地区及びつじが丘地区については全区域公共下水道への接続を完了しました。



▲水質の安定確保のため設備が拡充された岩室浄水場

一部事務組合で実施した事業

衛生センター設備の改修

2億5,738万円

経年劣化が進んでいた、ごみ処理施設の基幹設備「白煙防止用空気予熱器設備」を、平成24年度からの3力年事業で、改修工事を実施しています。